

俳句

久松 聰 (高槻市)



初鏡歯の健在を確かめる
 気の重きこと少しあり初詣
 高々と吾むす大樹初詣
 日射よし風そよぐ良し初詣
 初詣鎮守の杜の鳥の声
 参詣を終へて道あり初御空
 冬の宵光と音のファンタジー
 待合の咳の意味問ふ鎮まりぬ
 初場所の角番に勝ち湯殿かな
 荒息の馬群駆けぬけクロッカス

会員投稿



出土した人骨の口腔状況を調査する長岡朋人氏

Save the Children
守ろう! 子どもの健康
守ろう! 子どもの歯

両手で頭蓋骨を持ち上げ、口の中をのぞき込む。「ほら、ここを見てください。むし歯の痕跡が分かるでしょう」。そう話すのは、神奈川県聖マリアンナ医科大学の長岡朋人准教授(人類学)だ。江戸時代の子どもの人骨から判明した意外なむし歯の状況とは――。

400年の時を越え

むし歯は九州にあり



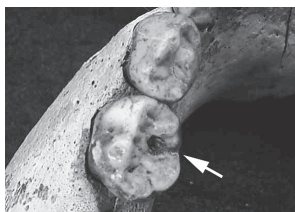
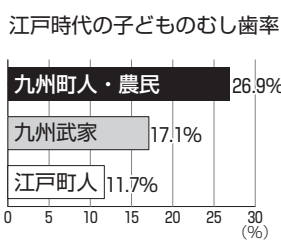
「歯」は語る

長岡氏が調査したのは、1975年に東京都立一橋高校内遺跡(千代田区)から出土した江戸町人の子どもの歯だ。

「当時の様子は古文書から推察できるため、『人骨を調べなくても』と敬遠されがち。しかし、骨や歯を分析することで記録にはない庶民の暮らしが見えてくる」

同大学が保管する115体の口腔状況を一体ずつ目視でチェックし、むし歯の本数や発生部位などを1年かけて調べた。遺骨ならぬ「遺歯」は全部で840本を数え、むし歯は99本あった。

その結果を別のグループの先行研究▽北九州市小倉北区の宗玄寺



出土した江戸町人の子どものむし歯

跡遺跡の武家の子ども▽同区の京町遺跡の町人と農民の子どもの比較。すると、江戸町人の子どものむし歯率(全本数に占めるむし歯の割合)11.7%に対し、九州の武家は17.1%、九州の町人・農民は26.9%と、江戸より高いことを突き止めた。

むし歯保有者の一人あたりの罹患本数は江戸で2.3本だった。九州は6本程度と突出。むし歯の状態を1本ずつ比べると、江戸は咬合面や隣接面に1カ所小さな穴が開いているケースがほとんど。九州は複数箇所穴があり、重症化が伺えた。

研究当初、「江戸時代の生活様式は全国的に均質化されていて、むし歯も似たような結果が出るのでは」と考えていた。大きな差が現れたことについて、長岡氏は鎖国体制の影響を指摘する。

むし歯予防に大切なのは食生活と歯みがきだ。それは今も昔も変わらない――。400年の時を越え、江戸時代の子どもたちが語りかけてくるようだ。

協会行事案内

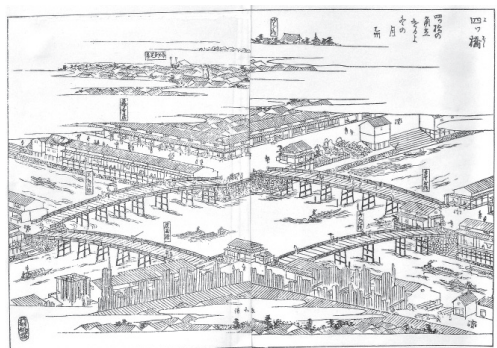
北大阪地区講習会
 医学と上手にお付き合いしましょう！―歯周医学のコンセプトがSPT患者を増やす―
 日時 1月21日(土) 午後6時30分～8時30分
 会場 千里ライフサイエンスセンタービル7階会議室(千里中央駅北出口から徒歩5分)
 講師 大森一弘氏(岡山大学病院歯周科講師)
 会費 会員無料 定員 50人

院長・経営セミナー
 医院経営のスコアカードと複式簿記を身につけよう
 日時 1月28日(土) 午後6時～8時
 会場 保険医会館5階会議室
 講師 宇治田竜一氏(協会経税部員・大阪市中央区開業) 定員 50人
 会費 会員・家族無料、会員院所未入会勤務医1万円

北河内地区講習会
 病診連携における患者紹介の実際
 日時 1月28日(土) 午後6時～8時
 会場 OMMビル201会議室(京阪天満橋駅すぐ)
 講師 児島由佳氏(関西医科大学附属病院歯科口腔外科診療科長)
 会費 会員無料、会員院所未入会勤務医1万円 定員 50人

「シャープニングセミナー」よりよいスクーリングのために
 日時 1月29日(日) 午前9時30分～午後0時30分
 会場 保険医会館5階
 定員 15人(先着順) ※1院所2人まで
 講師 臨床・学術部講師団
 会費 会員院所未入会勤務医1万円

斜ならず。ここに源蔵張とて煙管の店あり。世に名高し。四ツ橋を以て煙管の銘とするなり」とあり、通行人、行きかう船の多さ、名物の煙管のことが記されている。川面を吹く風は、夏の夕涼みには格好の場所だったらしく、大阪淡路つ橋を四つ 渡りけり」



『摂津名所図会』に描かれた四ツ橋

現在「四ツ橋」の地名は、大阪市内を南北に貫く四ツ橋筋と、東西に走る長堀通が交わる交差点の標識となっている。この交差点に立ち、あたりを見回しても橋などどこにもない。四ツ橋交差点の東側を南北に走る阪神高速は、昭和30年代に埋め立てられた西横堀川の上に設置された高速道路である。東西の長堀通は、昭和40年代に長堀川を埋め立て敷設された道路なのである。堀川が埋め立てられる以前の長堀川には西側に吉野屋が埋め立てられる以前の60年ほど前までは、南北方向の西横堀川と東西方向の長堀川が、現在の四ツ橋交差点の東側、阪神高速の下で直角に交わっていたのである。町の中で、川が直交している風景は今となってはなかなか想像しにくい。

南北方向の西横堀川には南側に下繫橋、北側には上繫橋が、東西方向の

『摂津名所図会』(1796～98年刊行)には「四つの橋の行人、漕ぎわたる船の往來も絶間なくして、風景

の句を残している。上繫橋は縁切橋とも呼ばれた。「上繫橋は、明治の中頃迄は、俗に縁切橋と称して、夫婦者又は、夫婦たらんとする男女は、通行を忌み、とりわけ嫁入の順序等には、避て迂回したものです」(平野桐丸「四つ橋の伝説」『上方』44号、1934年)とある。人が多く集まる所、四ツ橋にもこんな都市伝説があったのである。(つづ)

(大阪歴史博物館・伊藤純)

浪花 八百八橋物語

～駅名となった橋～
第2回 四ツ橋

川が直交する町の名所

現在「四ツ橋」の地名は、大阪市内を南北に貫く四ツ橋筋と、東西に走る長堀通が交わる交差点の標識となっている。この交差点に立ち、あたりを見回しても橋などどこにもない。四ツ橋交差点の東側を南北に走る阪神高速は、昭和30年代に埋め立てられた西横堀川の上に設置された高速道路である。東西の長堀通は、昭和40年代に長堀川を埋め立て敷設された道路なのである。堀川が埋め立てられる以前の長堀川には西側に吉野屋が埋め立てられる以前の60年ほど前までは、南北方向の西横堀川と東西方向の長堀川が、現在の四ツ橋交差点の東側、阪神高速の下で直角に交わっていたのである。町の中で、川が直交している風景は今となってはなかなか想像しにくい。

南北方向の西横堀川には南側に下繫橋、北側には上繫橋が、東西方向の